

TECHNO FRONTIER 2027

出展のご案内

会期 2027年7月14日(水)～16日(金) 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト 東展示棟1～3ホール

主催 JMA一般社団法人日本能率協会

早期申込受付中

1ブース
最大約6万円(税込)お得

期間限定
割引

出展申込期限

早期申込期限

2027年1月22日(金)

通常申込期限

2027年3月19日(金)

詳細・お問い合わせはこちらから

JMA一般社団法人日本能率協会
TEL:03-3434-1988 E-mail: tf@jma.or.jp

テクノフロンティア

検索

<https://tf.jma.or.jp/>



開催のごあいさつ

TECHNO-FRONTIER2027

企画委員会 委員長



東京科学大学 総合研究院
未来産業技術研究所 教授

進士 忠彦

TECHNO-FRONTIERは、長年にわたり、日本のものづくりを支えるメカトロニクス、エレクトロニクス分野の技術発展と交流の場として、多くの技術者・研究者の皆様に支えられてきました。モータ、モーション技術、電源、パワーエレクトロニクス、EMC・ノイズ対策、熱設計、部品設計・加工など、機械や装置を高性能かつ高信頼に「動かす」ための基盤技術を中心に、近年では生成AI、デジタルツイン、データ連携、ロボティクスなど、ものづくりの高度化を支えるデジタル技術へと対象領域を広げています。

TECHNO-FRONTIER 2026では、440社・842ブースの出展と、3日間で33,637名の来場をいただきました。研究・開発、設計、生産技術、製造など、ものづくりの中核を担う多くの皆様にご参加いただき、最新技術の情報収集にとどまらず、具体的な技術課題の解決や新たな連携につながる場として、その役割を高めています。

いま、世界の製造業ではAIの活用が新たな段階に入りつつあります。「Industrial AI」が注目され、AIを生産性や品質、設備稼働率の向上、新たなビジネスモデルの創出などにつなげる取り組みが広がっています。さらに、AIが現実世界を認識し、機械・設備・ロボットを直接動かす「Physical AI」も重要な潮流となっています。

しかし、AIだけで現実のものづくりを動かすことはできません。センサ、モータ、電源、パワーエレクトロニクス、精密機械、熱・EMC対策などの確かなハードウェア技術と、AI、データ、デジタル技術が融合して初めて、産業の競争力につながります。この「HARD」と「SOFT」をつなぐ場を提供できることこそ、TECHNO-FRONTIERならではの価値であると考えています。2027年は、メカトロニクスとエレクトロニクスの企画委員会を一つに統合し、個々の技術分野を越えた新たな企画を進めています。「TECHNO-FRONTIERだからこそ見られる、聞ける、出会える」展示会を目指し、HARDとSOFTをつなぎ、新たな技術、新たな連携、そして次のイノベーションが生まれる場を創出してまいります。

企画委員一覧

(敬称略・順不同、所属と役職は2026年7月時点)

メカトロニクス企画委員会(2026年)

委員長	進士 忠彦	東京科学大学 総合研究院 未来産業技術研究所 教授
副委員長	高崎 正也	埼玉大学 大学院理工学研究科・教授
委員	相牟田京平	株式会社プロテリアル 営業本部 モーターソリューション部 モーターソリューショングループ グループ長
	岡 裕介	株式会社安川電機 モーションコントロール事業部 ソリューション技術部 応用技術課 課長
	岡本 敬	ファナック株式会社 FAセールス本部 パワーモーションセールス部長
	鷹金 憲一	株式会社エヌ・ディ・アール エンベデッドソリューション部 シニア・セールス・アドバイザー
	窪川 稔	日本精工株式会社 産業機械事業本部 産業機械技術総合開発センター システム商品開発部 部長
	真田 孝史	株式会社安川電機 営業本部 農業事業開発営業部 部長
	武田 稔	株式会社ジェイテクト イノベーション統括部 イノベーション企画室 産官学企画課 主席プロフェッショナル 精密工学会フェロー
	東 浩史	三菱電機株式会社 FAシステム事業本部 FAエンジニアリングサービス部
	松本 吉正	山洋電気株式会社 取締役 専務執行役員 営業部門統括 グループ会社担当
	溝上 悟史	三菱電機システムサービス株式会社 第2本部 常務取締役本部長
	村上 弘記	株式会社IHI 技術開発本部 技監

エレクトロニクス企画委員会(2026年)

委員長	安田 勲	コーセル株式会社 取締役 執行役員 海外営業統括
副委員長	間中 孝彰	東京科学大学 工学院電気電子系・教授
委員	飯田 直樹	株式会社村田製作所 EMI事業部 アプリケーション開発部技術開発1課 マネージャー
	大阿久 学	株式会社電研精機研究所 ノイズラブル相談室 室長
	大石 聡一	株式会社ノイズ研究所 営業部 営業サポートG グループ長
	重光 浩仁	一般財団法人VCCI協会 総務部長
	仲村 典久	サンケン電気株式会社 事業推進本部 事業管理統括部 アライアンス推進部 渉外課
	山本 勲	ローム株式会社 研究開発センター 知的財産部 ライセンス室 アソシエイトフェロー

公式アンバサダー(2026年)

イチケン 電気系ものづくりYouTuber

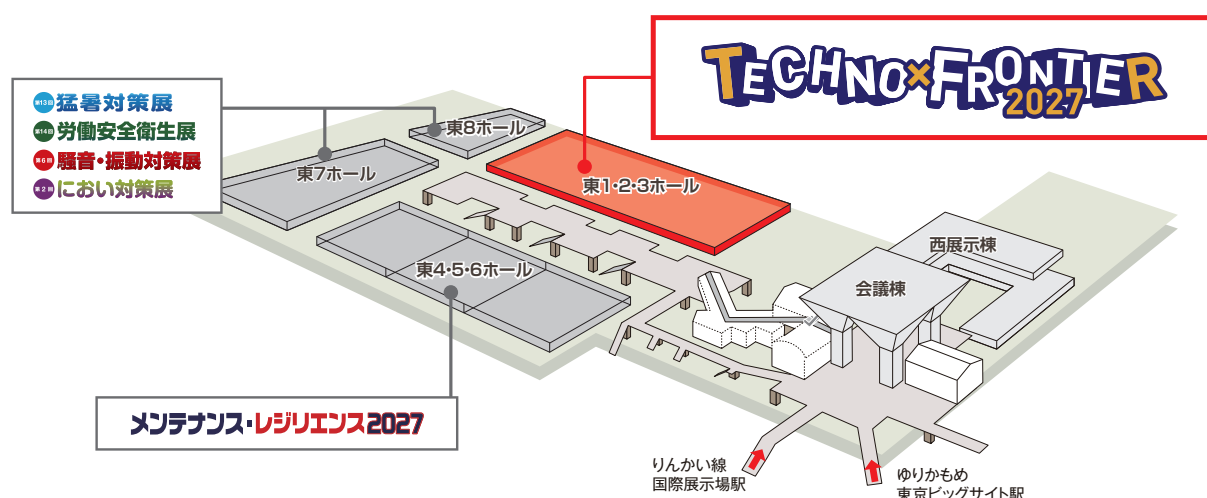
世界のEMC規格・規制冊子企画委員会および執筆者(2026年)

委員長	徳田 正満	東京都市大学 名誉教授
副委員長	石上 忍	東北学院大学 工学部 教授
委員	石津健太郎	国立研究開発法人情報通信研究機構 Beyond5G研究開発推進ユニット 研究統括 / Beyond5G デザインイニシアティブイニシアティブ長
	井上 博史	一般社団法人日本電機工業会 技術戦略推進部 重電・産業技術課 課長
	井上 正弘	株式会社東陽EMCエンジニアリング 委託技術顧問
	小田 明	一般財団法人VCCI協会 常務理事
	木下 正亨	オリンパスメディカルシステムズ株式会社 設計管理エンジニアリング 試験評価センター センター長
	久保田文人	一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター 松戸試験所 参与
	荏司 洋三	国立研究開発法人情報通信研究機構 Beyond Connectivity研究開発推進ユニット 先進的Connectivity協創センター ソーシャルICTシステム研究室
	高岡 宏行	パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 ライティング事業部 品質・環境革新センター
	千代島敏夫	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波標準研究センター 電磁環境研究室 研究技術員
	坪内 敏郎	株式会社村田製作所 EMI事業部 アプリケーション開発部 アプリ開発企画課
	中村 勉	株式会社安川電機 技術開発本部 信頼性技術部 規格認証課 担当課長
	野島 昭彦	トヨタ自動車株式会社 電子性能開発部 電子性能開発室 主査
	平伴 喜光	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部
	舟木 剛	大阪大学 工学研究科電気電子情報通信工学専攻・教授
	山下 洋治	一般財団法人電気安全環境研究所 技術部総括担当部長 EMC試験センター所長
	和田 修己	名古屋工業大学 未来通信研究センター 研究員/客員教授

開催概要

名称	TECHNO×FRONTIER 2027
会期	2027年7月14日(水)～16日(金) 10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト 東展示棟1～3ホール
主催	一般社団法人日本能率協会
出展予定規模	500社／950ブース
来場予定者数	40,000名

会場レイアウト



出展者

要素技術

- モーター技術展
- 電源システム展
- パワーエレクトロニクス技術展
- EMC・ノイズ対策技術展
- 熱設計・対策技術展
- 部品設計・加工技術展

デジタル・オートメーション技術

- 開発・設計生成AI展
- スマートファクトリーDX展
- 工場自動化・ロボティクス展
- 工場OTセキュリティ展

製品開発や生産現場の課題を解決する
技術・製品・ソリューションを
ご提案ください。

出展対象製品詳細はP.4～5をご覧ください。



来場者

製品開発領域

- 1. 産業機器メーカー
- 2. 民生機器メーカー
- 3. 自動車メーカー
- 4. 医療機器メーカー

などの
研究・開発・設計エンジニアが中心

+

生産現場領域

生産現場を支える

生産技術	生産管理
品質管理	製造
工場管理	DX推進

などが中心

TECHNO × FRONTIER が選ばれる理由

ものづくりの中核を担う技術者と出会える

来場者の7割以上がものづくり関連企業、半数以上が製品開発・生産現場の中核部門。

ものづくりの「技術」にフォーカスし、製品開発から生産現場まで、技術課題を抱える専門人材と直接つながることができる技術専門の展示会です。

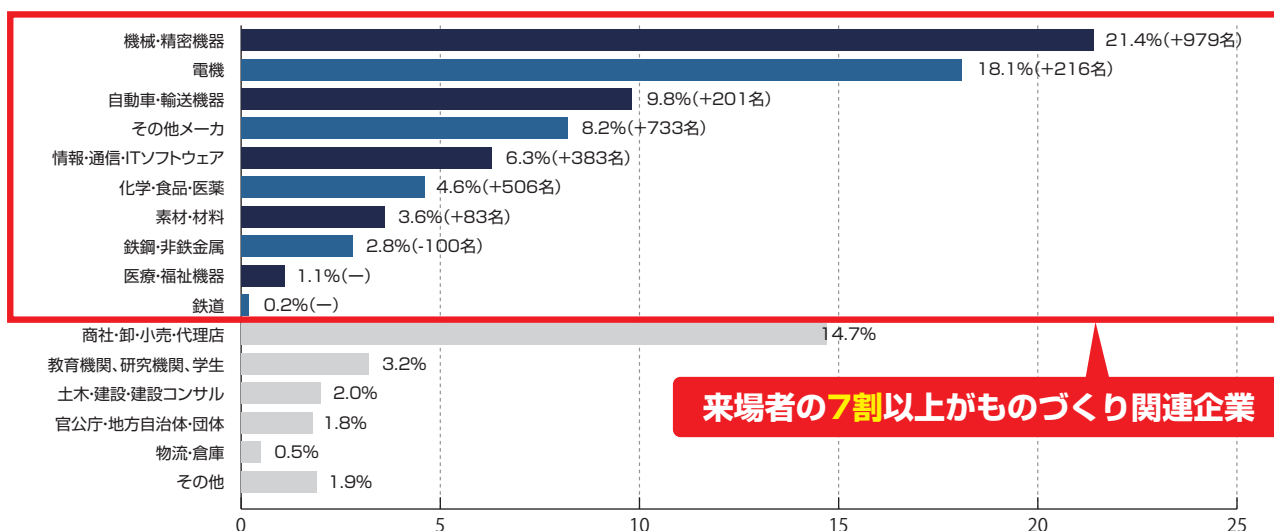
来場者数
(2026年)

33,637名 (2025年
28,928名)

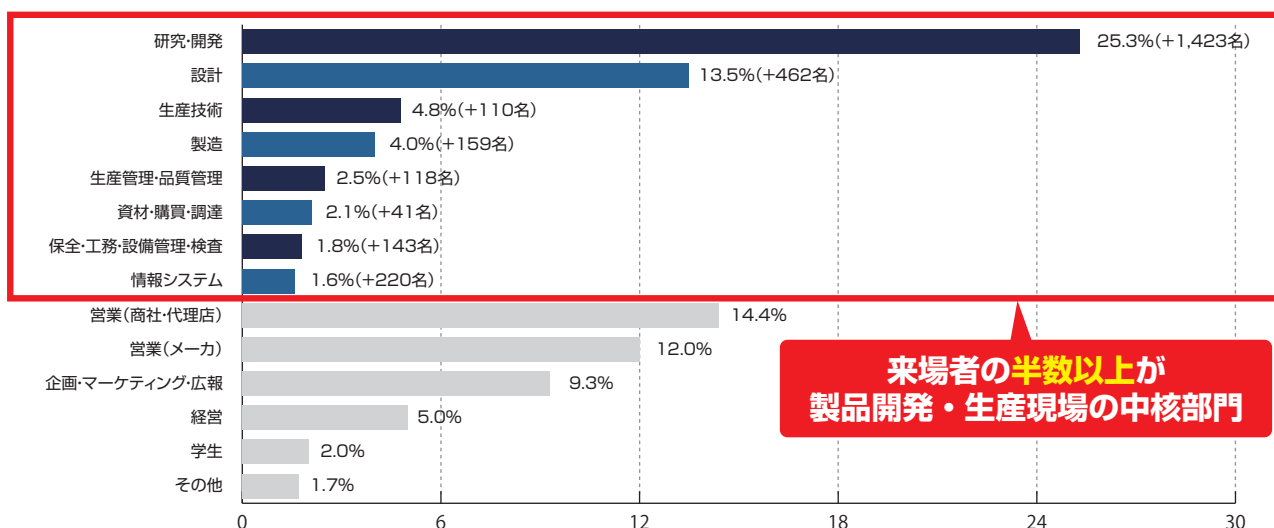


※小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

業種別分析



職種別分析



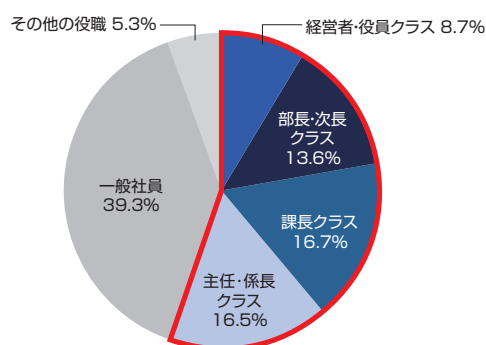
～来場者データより～

意志決定層・購入関与者と直接出会える

来場者の半数以上が役職者、6割以上が製品・サービスの購入・選定に関与。

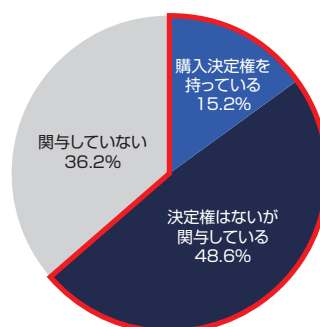
購入・選定に関わるキーマンと直接出会い、商談や新規顧客の獲得につながる展示会です。

役職別分析



来場者の半数以上が役職者

購入関与度分析



来場者の6割以上が製品・サービスの購入・選定に関与

来場者の声



普段、接点のない技術担当者と直接話すことができ、自社の課題解決につながる具体的な相談ができた。



複数社の製品・技術を比較しながら話を聞くことができ、導入や選定に向けた検討を進めることができた。

詳細は
こちらから



TECHNO × FRONTIER が選ばれる理由

新規顧客開拓から幅広い営業・マーケティング活動に活用

出展企業の多くが新規顧客の開拓を目的に出展しており、新たな顧客との接点や商談機会の創出につながっています。

また、既存顧客との関係強化や企業・製品の認知向上、市場・顧客ニーズの把握など、幅広い営業・マーケティング活動の場として活用されています。

出展者数
(2026年)

440社



ブース数
(2026年)

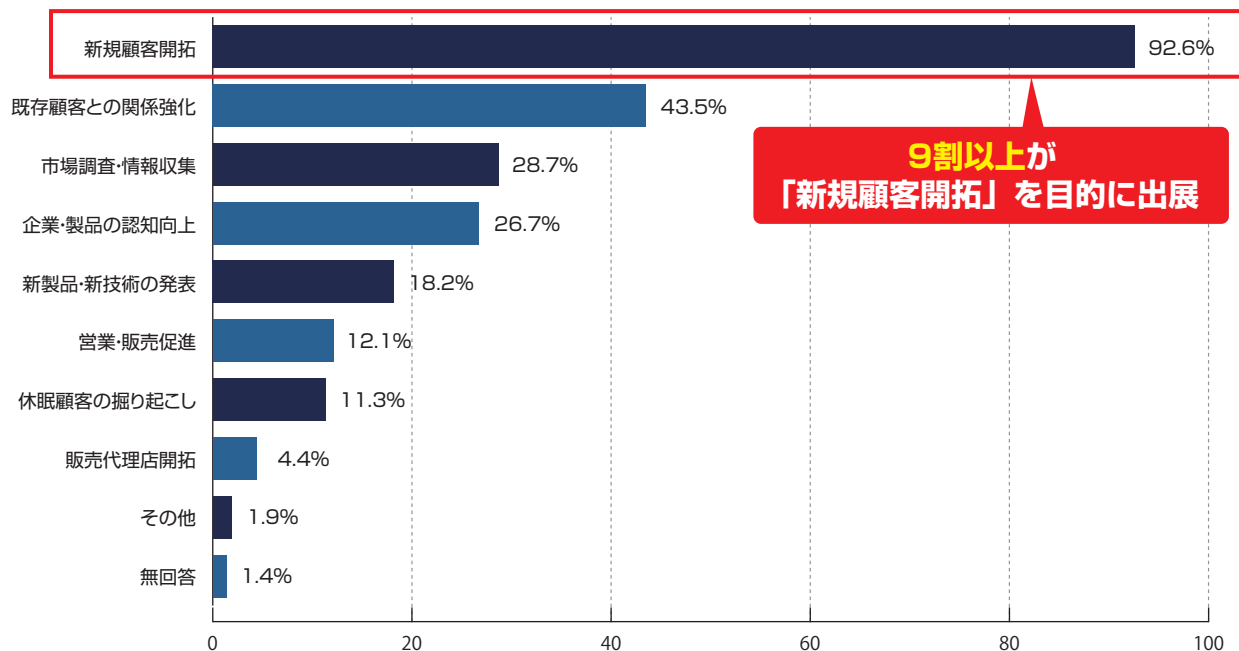
842ブース



※小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

2026年結果報告書より

出展目的(複数回答)



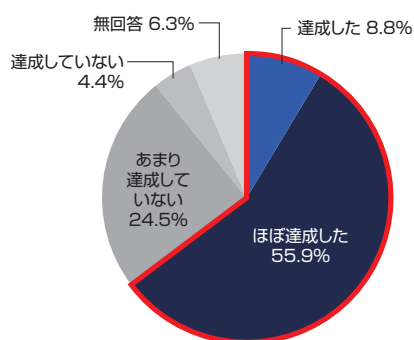
～出展者データより～

出展成果を実感でき、次回出展につながる

出展目的の達成度、来場者の質に対する満足度ともに高く評価。

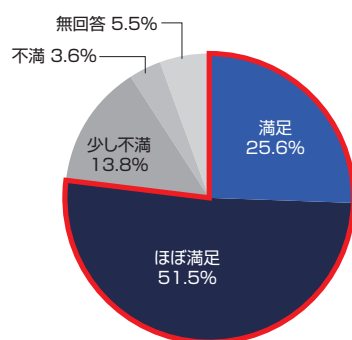
出展による成果を質の高い来場者との接点が評価され、継続的な出展を検討する企業が多く、次回の出展につながっています。

出展目的の達成度



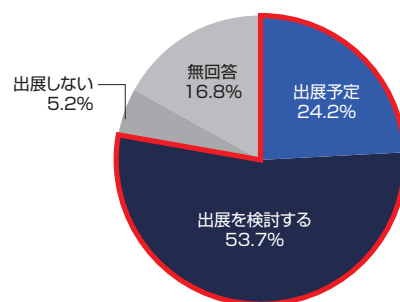
**6割以上が
出展目的を達成**

来場者の質に対する満足度



**7割以上が
来場者の質に満足**

次回の出展意向



**7割以上が
次回も出展を検討**

出展者の声

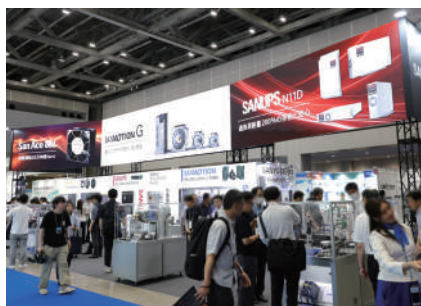


今期を通じて、1,000件を超えるリードを獲得でき、新規顧客開拓につながる多くの接点を作ることができた。



技術的な課題や導入について具体的に話せる来場者が多く、質の高い商談につながった。

詳細は
こちらから



構成展示会と出展対象

第45回 モータ技術展 刷新

電動化、自動化、省エネルギー化が進む中、産業機器、自動車、ロボティクス分野では、モータ単体の性能向上だけでなく、駆動・伝達・制御を含めたシステム全体の高効率化、高精度化が求められています。

本展では、各種モータ、アクチュエータ、駆動・伝達機構、制御技術、センシング技術など、あらゆる機器の「動き」を支える要素技術とシステム技術が一堂に集結する専門展示会です。

	モータ・アクチュエータ技術	駆動・制御技術	センシング・位置決め技術	駆動機構・評価技術
出展対象	● 各種モータ ● ステッピングモータ ● 小型モータ ● アクチュエータ ● メカトロニクス技術	● サーマモータ ● リニアモータ ● 精密モータ ● モータドライバ ● インバータ ● サーマンプ ● モーション制御機器 ● モーションコントローラ ● 組込み制御機器 ● ボードコンピュータ ● 制御ソフトウェア ● リアルタイム制御OS	● エンコーダ ● 各種センサ ● マシンビジョン ● 位置決め装置	● 減速機 ● ギア ● ベアリング ● 制御用半導体 ● 磁性材料 ● 駆動システム評価技術 ● 計測機器 ● 試験機器

第42回 電源システム展

電子機器の高性能化、電動化、通信技術の高度化に伴い、高効率かつ安定した電力供給を実現する電源技術の重要性が高まっています。本展では、電源装置、電源部品、蓄電・給電技術、電源評価技術など、電子機器やシステムへ安定した電力を供給するための技術が集結する専門展示会です。

	電源装置・給電技術	電源部品・回路部品	電源管理・評価技術
出展対象	- 電源装置 - AC/DC電源 - 電源モジュール - バッテリー - 充電技術 - スイッチング電源 - DC/DCコンバータ - UPS(無停電電源装置) - 蓄電池 - キャパシタ - ワイヤレス給電 - 次世代給電技術	- コイル - トランス - リレー - ケーブル - インダクタ - 電源IC - ヒューズ - 回路保護部品 - コンデンサ - PMIC(電源管理IC) - コネクタ	- 高調波対策機器 - 電源監視システム - 電力管理システム - 電源評価装置 - 電力測定機器

第6回 パワーエレクトロニクス技術展

EV、再生可能エネルギー、産業機器の高性能化が進む中、高効率な電力変換・制御を実現するパワーエレクトロニクス技術は、次世代ものづくりを支える重要技術となっています。

本展では、次世代パワー半導体から電力変換装置、回路設計、実装、評価技術まで、高効率な電力変換・電力制御を実現する技術が一堂に集結する専門展示会です。

	パワー半導体・デバイス技術	電力変換・制御技術	設計・実装・評価技術
出展対象	- パワー半導体 - GaNデバイス - MOSFET - パワー半導体材料 - 半導体製造技術 - SiCデバイス - IGBT - パワーモジュール - ウエハ関連技術	- ゲートドライバ - コンバータ - 電流センサ - 電力制御回路 - インバータ - 電力変換装置 - リアクトル	- パワー回路設計技術 - 実装材料 - シミュレーションツール - パワエレ評価技術 - パワーデバイス実装技術 - 放熱基板 - パワーデバイス検査装置

第40回 EMC・ノイズ対策技術展

電子機器の高速化、高周波化、高密度実装化に伴い、EMC対策は製品品質、安全性、信頼性を左右する重要な設計課題となっています。本展では、ノイズ抑制、シールド、測定・解析、試験・認証など、電子機器のEMC性能向上を支える幅広い技術・ソリューションが集結する専門展示会です。

	EMC対策部品・材料	測定・解析技術	試験・認証・ソリューション
出展対象	- EMC対策部品 - フェライトコア - 電磁波吸収材 - グラウンド対策製品 - ESD対策機器 - ノイズフィルタ - チョークコイル - シールド材 - 絶縁対策製品 - 回路保護部品	- EMC測定装置 - EMI/EMS解析装置 - 高周波測定機器 - EMI測定装置 - EMC解析ソフト	- 電波暗室 - EMC試験サービス - EMCコンサルティング - 医療機器EMC対応技術 - EMC試験装置 - EMC認証関連サービス - 車載EMC対応技術

第29回 熱設計・対策技術展

電子機器の小型化、高性能化、高密度実装化に伴い、熱設計は製品性能、信頼性、寿命を左右する重要な設計技術となっています。本展では、放熱材料、冷却技術、熱解析、温度評価技術など、電子機器の性能向上と信頼性確保を実現する熱設計・熱マネジメント技術が集結する専門展示会です。

	放熱・冷却技術	熱解析・設計技術	熱評価・測定技術
出展対象	- 放熱材料 - ヒートシンク - ブロウ - 熱交換器 - 熱伝導材料 - 放熱基板 - 液冷システム - 冷却ユニット - TIM(熱界面材料) - 冷却ファン - 水冷システム - ベルチェ素子	- 熱解析ソフト - CFD解析ソフト - 熱流体解析技術 - サーマルマネジメント技術 - 高密度実装冷却技術	- 温度センサ - 熱測定装置 - サーモグラフィ - 熱評価受託サービス



第9回 部品設計・加工技術展 刷新

製品の高機能化、小型化、高精度化が進む中、設計段階から材料選定、試作、加工、量産までを一体で最適化することが、ものづくり競争力を左右する重要な要素となっています。

本展では、部品設計、構造解析、材料技術、試作、精密加工、表面処理など、製品開発を支える設計・加工技術から製造基盤技術までが一堂に集結する専門展示会です。

	設計・解析・開発支援技術	試作・加工技術	材料・加工関連技術
出展対象	- 機械部品 - CAE解析 - 構造最適化技術 - 図面管理システム - 設計支援ソフトウェア	- 精密部品 - CAD - 設計受託サービス - 材料選定サービス - モジュール設計 - CAM	- 試作技術 - プレス加工 - 微細加工 - 金型技術 - 金属加工 - 研削加工 - 特殊加工技術 - 表面処理 - 切削加工 - 精密加工 - 樹脂加工 - 接着技術 - 材料技術 - CFRP加工 - 加工機械 3Dプリンタ - 複合材料 - 切削工具 - 工作機械 - 積層造形技術

第2回 開発・設計生成AI展 刷新

製造業では、生成AIやデジタル技術の進化により、開発・設計業務の効率化、高度化、開発スピード向上が急速に進んでいます。

本展では、生成AI、設計支援ツール、シミュレーション、データ活用基盤など、開発・設計業務の高度化とDX推進を実現する最新技術・ソリューションが集結する専門展示会です。

	AI・生成AI技術	設計・開発支援技術	開発DX基盤・ソリューション
出展対象	- 生成AI - 図面生成AI - AI検索エンジン - ナレッジ検索システム - AI設計支援ツール - 技術文書生成AI - RAGシステム	- CAD - PDM - シミュレーションソフト - 設計自動化ツール - CAE - MBSE - PLM - デジタルツイン - 設計最適化システム	- BOM/BOP管理システム - API連携基盤 - SaaS - 開発支援ソフトウェア - クラウド基盤 - ERP - 開発DXコンサルティング

第20回 スマートファクトリーDX展 刷新

製造現場では、生産性向上、品質改善、設備安定稼働に向けて、設備・人・生産データを連携し、工場全体を最適化するスマートファクトリー化が進んでいます。

本展では、IoT、設備監視、データ連携、デジタルツイン、予兆保全、工場ネットワークなど、生産現場の見える化・データ活用・最適化を実現するDX技術が集結する専門展示会です。

	工場データ活用・管理技術	設備監視・品質改善技術	工場ネットワーク・通信技術
出展対象	- IoTプラットフォーム - ERP - BIツール - データハブ - BOM/BOP連携システム - MES - SCADA - データ連携基盤 - API連携ソリューション	- 設備監視システム - 予兆診断システム - 製造実行システム - AI分析システム - 工場見える化システム - 予兆保全システム - PLC連携システム - Edge AI	- クラウド基盤 - MQTT - 通信基地局 - MECソリューション - 工場ネットワーク機器 - エッジコンピューティング - OPC-UA - アンテナ - eSIM - プライベート5G - リモート監視システム

第7回 工場自動化・ロボティクス展 刷新

人手不足への対応、生産性向上、品質安定化に向けて、製造現場ではロボットや自動化技術を活用した省人化・自動化への取り組みが加速しています。

本展では、産業用ロボット、協働ロボット、搬送技術、画像認識、自律制御など、生産現場の自動化・効率化を実現するロボティクス技術とソリューションが集結する専門展示会です。

	ロボット・搬送技術	ロボット周辺技術	制御・自動化技術
出展対象	- 産業用ロボット - AGV - 自動搬送システム - 自動倉庫 - 協働ロボット - AMR - コンベア - ピッキングシステム	- ロボットハンド - 画像認識システム - 安全センサ - グリッパ - 画像検査AI - フェンスレス安全制御	- AIロボティクス - 自律制御システム - PLC制御機器 - 自動組立装置 - ロボットSler - モーション制御機器 - 人協調制御システム - ロボット制御装置 - FA機器

第2回 工場OTセキュリティ展 刷新

スマートファクトリー化や工場ネットワーク化が進む中、生産設備、制御システム、製造データを守るOTセキュリティは、製造業における重要な経営課題となっています。

本展では、工場設備や制御ネットワークをサイバー攻撃や内部リスクから守る、製造現場特化型のセキュリティ技術・ソリューションが集結する専門展示会です。

	OTセキュリティ技術	資産管理・監視技術	認証・データ保護技術
出展対象	- OTセキュリティソリューション - ICS/SCADAセキュリティ - OTファイアウォール - VPN - ネットワーク監視システム - IDS/IPS - エンドポイント保護	- 資産管理システム - リモート保守セキュリティ - SOC監視サービス - セキュリティ監視システム - IT/OT統合セキュリティ - ゼロトラストセキュリティ - 脆弱性診断	- USBデバイス管理 - ログ監査システム - 暗号通信モジュール - CSIRT運用支援 - ID認証システム - セキュリティチップ - 設定ミス検知ソフト - OT/IT統合監視システム

出展費用

▶ 出展料金

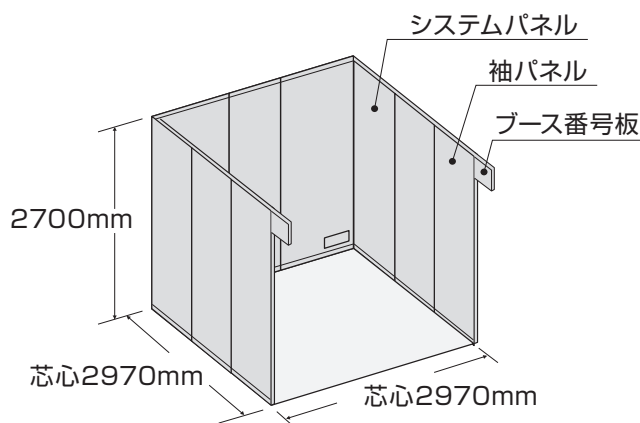
	申込ブース単価(税込)		
早期出展申込 締切:2027年1月22日(金)	会 員	1～3ブース	¥497,200
		4ブース以上	¥473,000
	会員外	1～3ブース	¥533,500
		4ブース以上	¥508,200
通常出展申込 締切:2027年3月19日(金)	会 員	1～3ブース	¥557,700
		4ブース以上	¥533,500
	会員外	1～3ブース	¥594,000
		4ブース以上	¥569,800

※出展料金に適用する消費税率は、本展示会会期最終日時点の税率とします。

※会員とは、一般社団法人日本能率協会の会員を指します。

※通常出展申込期限後の申込については、1社あたり55,000円(税込)の申込手数料を申し受けます。

▶ 基礎ブース ブースサイズ:間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m



※2面開放ブースの場合、通路側の袖パネルは設置されません。

※展示ブース内の装飾(展示台、棚、社名板、カーペット等)ならびに、電気・水道・ガス・インターネット配線の工事費および使用料は、出展者のご負担となります。

※ブース位置や出展規模により、開閉器およびブース番号板の設置場所が変更となる場合がございます。

電気幹線工事(一次側)の 施工区分変更について

TECHNO-FRONTIER 2027より、電気供給設備における施工区分(費用負担区分)を以下の通り変更いたします。出展者の皆様にはご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

■変更内容

従来：1ブースにつき100V・300Wまでの一次側電気工事費は主催者負担

TECHNO-FRONTIER 2027より：電気幹線工事(一次側)、二次側電気工事および電気使用料は、すべて出展者負担

▶ 出展の取り消し(キャンセル規定)

出展申込後の出展取り消し・解約は、原則としてできないものとします。

ただし、やむを得ない事情により、主催事務局の承認を得たうえで出展の取り消し・解約を行う場合は、下記のキャンセル料をお支払いいただきます。

なお、下記期限内に出展ブース数を減少した場合についても、減少分に対するキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。

期 限	キャンセル料
各申込期限(早期、通常)の翌日から下記該当日前日	税抜出展料の50%
出展ブースレイアウト発表日以降	税抜出展料の100%

※各種有料オプションのキャンセルについても、上記のキャンセル規定が適用されます。

※詳細は出展規定をご確認ください。

出展オプション

ブース指定権

数量限定

本指定権を申込されると、コーナー(2面開放)ブース、またはダブル(3面開放)ブースをご用意いたします。
なお、数に限りがありますので、受付できない場合もございます。

コーナー(2面開放)ブース(1~2ブース対象)

利用料金(税込)	¥110,000
----------	----------

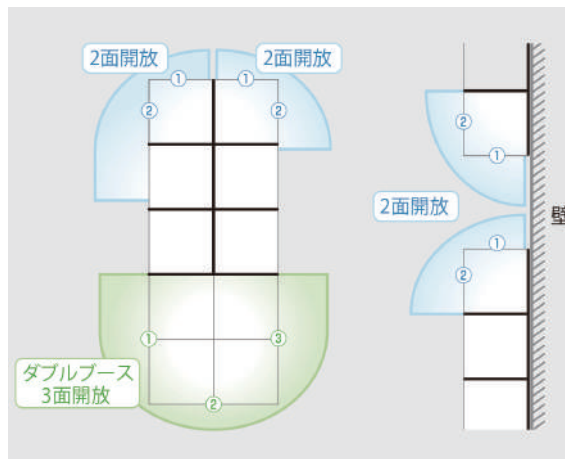
※2面開放をご指定される場合は申込が必要です。
※3~6ブースのシングルブース(一列)をご選択した方は、
無料で2面開放となります。

ダブル(3面開放)ブース(4ブースのみ対象)

利用料金(税込)	¥440,000
----------	----------

※6~8ブースのダブルブース(二列)をご選択した方は、
無料で3面開放となります。
※10ブース以上の申込をされた方は、スペースブース
(4面開放)となります。

【コーナー(2面開放)ブース、ダブル(3面開放)イメージ図】



スマート装飾プラン

基本的な装飾を備えたベーシックプランから、予算やイメージに合わせて自由に設計できるカスタマイズプランまで、出展規模や目的に応じた複数の装飾プランをご用意しております。

ベーシックプラン



発注するだけで、展示に必要な基本備品が揃う、
手軽で便利なプランです。

お手軽
派

カスタマイズプラン



予算や展示イメージに合わせて、
オリジナルデザインのブース装飾を施工するプランです。

こだわり
派

※詳細は、別途ご案内する「スマート装飾プランのご案内」(3月予定)をご確認のうえ、申込ください。

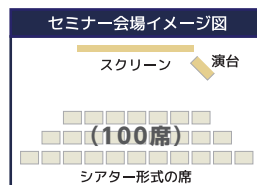
出展オプション

出展者セミナー

全30枠限定

本セミナーを活用し、ターゲット層に向けて貴社の製品・サービスを効果的にPRしてみませんか。

※セッション数には限りがございますので、お早めに申し込んでください。



- 〈仕様〉
- 形式……シアター形式
 - 収容予定人数……100名
 - 備品
 - 演台
 - LEDモニター
 - 音響設備(マイク・スピーカー)
 - 椅子
- ※その他必要な備品は、出展者にてご準備ください。

聴講料金 無料

発表時間 50分／1セッション(質疑応答時間含む)

発表スケジュール

発表時間	7月14日(水)	7月15日(木)	7月16日(金)
11:00~11:50	1	6	11
12:10~13:00	2	7	12
13:20~14:10	3	8	13
14:30~15:20	4	9	14
15:40~16:30	5	10	15

※同一時間帯に複数の申込があった場合は、原則として申込順にて決定いたします。

利用料金(税込) ￥253,000／1セッション

会場内ストックルームの貸出し(2㎡／ルーム)

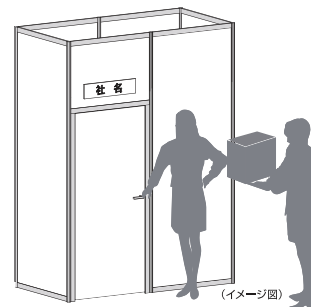
会期中、会場内に展示物の梱包材や製品パンフレット等を一時保管できるスペースとして、下記の通りストックルームを設置します。

利用料金(税込) ￥55,000／1ルーム

1ルームのスペース 2㎡(間口 990mm 奥行 1,980mm)ドア・鍵付き

利用期間 2027年7月13日(火)9:00～ 16日(金)17:00

- 利用規定
- ストックルーム内の物品は、出展者の責任において管理してください。
 - 盗難・紛失等の事故について、事務局は一切の責任を負いません。
 - なお、ストックルームを休憩所・展示スペース等として利用することはできません。
 - 設置場所は事務局にて決定します。
 - 2ルーム以上申込の場合も、出入口(ドア)は1か所となります。



※申込は、5月に予定しておりますブースレイアウト公開後より受付を開始いたします。

誘導看板広告

先着順・数量限定

来場者データスキャンサービス

展示会場へ向かう来場者に向けて、貴社をPRできます。

利用料金(税込) ￥220,000

サイズ W848mm × H1,384mm

原稿 Adobe Illustrator

※広告デザイン内には、出展ホール名(東○ホール)およびブース番号を必ずご表記ください。



本展の来場者は、QRコード付き来場者バッジを携帯しています。そのQRコードをスキャンすることで、来場者情報を取得できるサービスです。

リード獲得や、貴社ブースへの来場者管理・フォローアップにご活用いただけます。

詳細のご案内および申込受付は、出展締切後に「出展者マイページ」にて実施予定です。

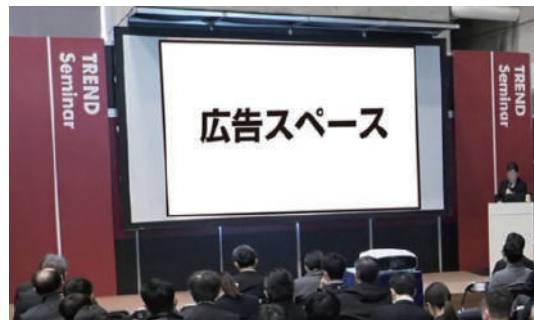


セミナー協賛広告

- 対象会場** ●主催者セミナー① ●主催者セミナー②
- 広告配信** ●各セミナーの前後に広告を投影
●1日につき5セミナー開催予定
- 原稿規定** 【動画】MP4
【静止画】JPEG、PPTX、PDF
【サイズ】16:9

利用料金(税込) ￥77,000 / 1セミナー会場・3日間

※広告原稿は貴社にて作成いただきます。
※原稿提出規定については、4月にご案内いたします。



メール配信広告

約12万件のリストへ、貴社製品・技術をPR

- 申込条件** ●テキストのみ掲載可(画像不可)
●下記見本に倣い文字数をご調整ください。

<PR> 株式会社〇〇(ブース番号 E4-M00)
<https://www.〇〇.co.jp/>
〇〇では、製品開発を支えるさまざまな技術・サービスを取り揃え、実機やデモンストレーションを交えながら、お客様の技術課題やニーズにお応えします。

(注)日本語のメール配信に掲載する広告です。

利用料金(税込) ￥220,000 / 1申込につき1回配信

※広告原稿は貴社にて作成いただきます。
※原稿提出規定については、3月にご案内いたします。

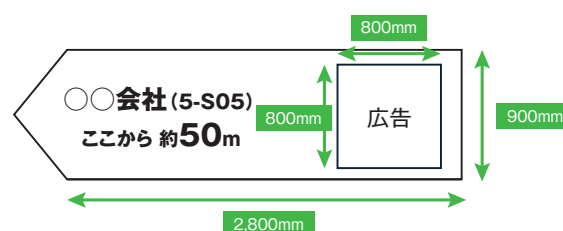
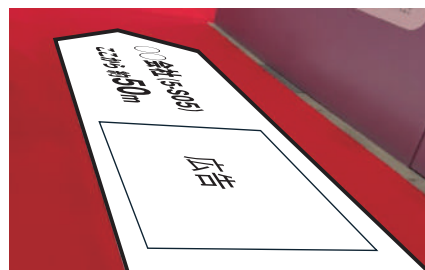


床面広告

利用料金(税込)	1カ所	¥220,000
	3カ所	¥627,000
	5カ所	¥990,000

※広告原稿は貴社にて作成いただきます。
※原稿提出規定については、3月にご案内いたします。
※設置場所は、全体レイアウト決定後に調整いたします。

広告サイズ 縦800×横800(mm)



支払方法・申込手順

▶ 出展料金の支払方法

申込内容に基づき、事務局より請求書を発行いたします。請求書受領後、指定口座へお振込みください。

支払期限 **2027年4月30日(金)**

※期限までに支払が確認できない場合は、出展を取り消す場合がございます。

▶ 申込手順(WEB申込)

① 出展規定をご確認のうえ、下記URLより申してください。

https://school.jma.or.jp/exhibition/entry/2027/techno_frontier/

※出展申込URLは、公式WEBサイトからもアクセスできます。

② 申込完了メールにて、申込内容をご確認ください。

※見積書、申込受理書等が必要な場合は、公式WEBサイトの「お問い合わせ」より、作成希望日をご指定のうえご連絡ください。

③ 事務局より請求書を送付します。請求書の発行をもって、出展契約が成立します。

申込フォーム



▶ ブース位置の決定

ブース位置は、以下の項目を考慮のうえ、会場ゾーニング計画に基づき事務局にて決定いたします。

① ブース数・出展ゾーン

② 申込時期

③ 過去の出展実績(出展回数)

④ 出展製品

⑤ 実演の有無(水道・ガス利用による工事の有無)

⑥ その他、各社の特記事項

ブース位置は、[2027年5月中旬](予定)に出展者マイページにて公開いたします。

※ブースタイプ(シングル・ダブル・スペース)および2面開放・3面開放の指定については、申込内容を確認のうえ、レイアウトに反映します。

※実演に伴い水道・ガスを利用する場合は、ガス容量や配管設備の都合により、ブース位置が制限される場合があります。あらかじめご了承ください。

▶ 出展料金以外に想定される主な費用

◆ ブース装飾費、レンタル備品費

◆ 電気工事費および電気使用料

◆ 水道・ガス工事費および使用料

◆ 社名板作成費

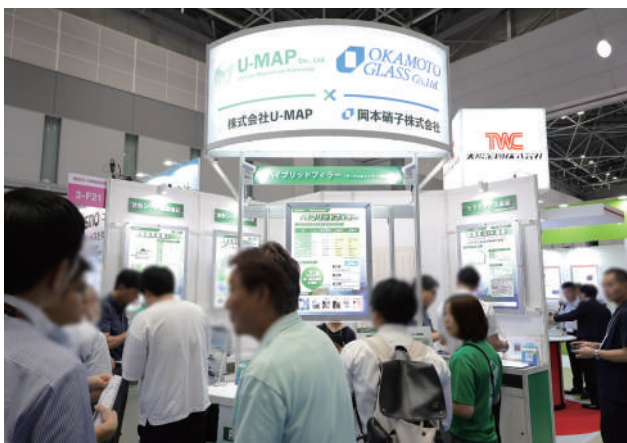
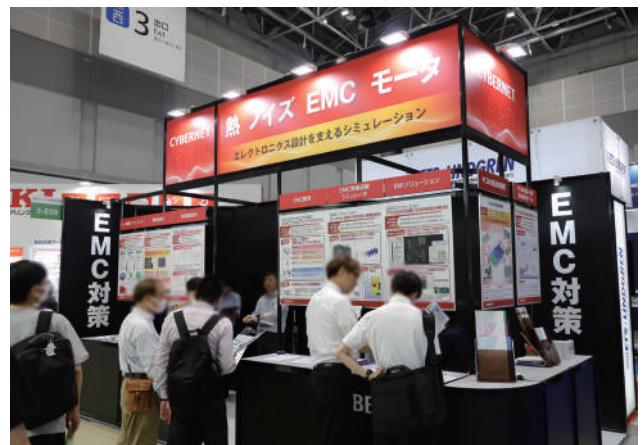
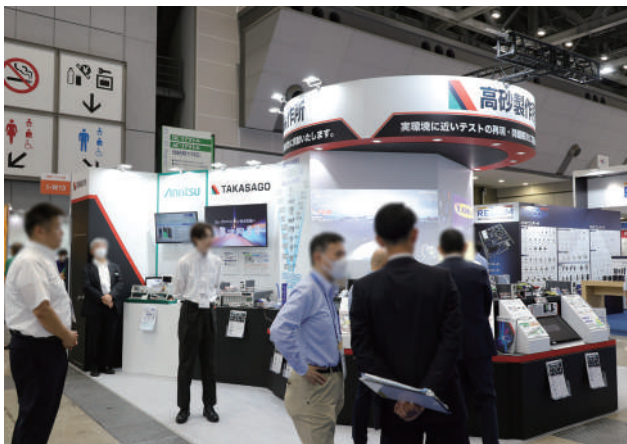
◆ インターネット接続工事費および使用料

◆ 当日運営スタッフ(アルバイト等)の人件費

◆ パンフレット等の印刷費

◆ 展示製品・パンフレット等の輸送費

2026 年の会場風景



スケジュール

2027年1月22日(金)

早期出展申込締切日

早期に申し込めば、早期割引が適用され、お得にご出展いただけます。

1ブース 最大約 **6万円(税込)** お得

2027年3月19日(金)

通常出展申込締切日

予定出展規模に達した場合は、締切日前であっても受付を締め切らせていただく場合がございます。
※通常出展申込期限後の申込については、1社あたり55,000円(税込)の申込手数料を申し受けます。

2027年4月30日(金)

出展ブース料等、支払期日

出展申込受付後、順次ご請求書をPDF形式にて送付いたします。
※支払期限の厳守をお願いいたします。

2027年5月中旬予定

出展者説明会(予定)

● ブースレイアウト資料公開 ● 「出展の手引」・「各種提出書類」配付 ● 各種規定の説明
※ブースレイアウトの事前公開は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

2027年6月中旬予定

各種提出書類締切

各種提出書類の提出期限です。
(申請内容により期限は異なります)

2027年6月末予定

スマート装飾プラン申込締切

※スマート装飾の支払期限は**6月末(予定)**となりますので、ご注意ください。

2027年7月14日(水)
～16日(金)

会期

搬入日 7月12日(月)～13日(火) 8:00～18:00
搬出日 7月16日(金) 17:00～22:00(即日撤去)

会期後

来場実績およびアンケート結果を基に、事務局にて開催結果報告書を作成のうえ、順次ご案内いたします。

詳細はこちらから

テクノフロンティア

検索

<https://tf.jma.or.jp/>



出展の申込・問い合わせ先

TECHNO×FRONTIER 事務局 一般社団法人 日本能率協会 産業振興センター内
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL:03-3434-1988 FAX:03-3434-8076 E-mail: tf@jma.or.jp